

しょう4 こくご「慣用句・ことわざ」 その1

なまえ _____ がつ にち てん _____ / 20

1 「井の中の蛙大海を知らず」の意味は？

ア 小さなことも 積み重なれば 大きくなる イ 身近なことは かえって 気づきにくいこと

ウ よいと思ったことは すぐに行うのがよい

エ せまい知識だけで 広い世界を 知らないこと こたえ _____

2 「どんな 所でも 住みなれば いごちよく 感じる」という 意味の ことわざ・慣用句は？

ア 一寸の虫にも五分のたましい イ 顔が広い ウ 住めば都 エ 案ずるより産むがやすし

こたえ _____

3 「聞くのは 少しいのは ずかしさだが、聞かないと ずっと 損を すること」という 意味の ことわざ・慣用句は？

ア 知らぬが仏 イ 聞くは一時のはじ ウ 朱に交われれば赤くなる エ 転ばぬ先のつえ

こたえ _____

4 「悪いことが 重なって 起こる」という 意味の ことわざ・慣用句は？

ア 虎の威を借るきつね イ とらぬたぬきの皮算用 ウ 泣きっ面にはち

エ 好きこそものの上手なれ こたえ _____

5 「灯台もと暗し」の意味は？

ア 今か今かと 待ちこがれる イ 身近なことは かえって 気づきにくいこと

ウ 見た目より 役に立つものを えらぶ エ とても おどろく こたえ _____

6 「もめごとのあと、かえって よい 状態に なること」という 意味の ことわざ・慣用句は？

ア 帯に短したすきに長し イ 雨降って地固まる ウ 急がば回れ エ 目を丸くする

こたえ _____

7 「^す住めば^{みやこ}都^{いみ}」の意味は？

ア ^{である}出歩けば ^{おも}思いがけないことに ^{であ}出会う

イ ^{ところ}どんな ^す所でも ^{かん}住みなれば ^{いご}いご ^{かん}こちよく ^{かんが}感じる ^{ふか}こと ウ ^{かんが}あれこれ ^{かんが}深く考える

エ ^{めいじん}名人でも ^ししっばい ^{する}することが ^{ある} こたえ _____

8 「^きさるも^お木から^{いみ}落ちる」の意味は？

ア ^{じぶん}自分の ^{ちから}力では ^{どう}どう ^{する}することも ^{できない} イ ^{めいじん}名人でも ^ししっばい ^{する}ことがある

ウ ^{おも}思いがけない ^{こううん}幸運が ^{まい}まい ^{こむ}こと エ ^{じぶん}自分の ^{した}ことが ^{もと}も ^{とで}で ^{じぶん}自分が ^{くる}苦しむこと

こたえ _____

9 「^{じぶん}自分に ^あ合った ^{ばしょ}場所で ^い生き ^い生き ^{いみ}する」という ^{いみ}意味の ^{こと}こと ^{わざ}わざ・^{かんよう}慣用句は？

ア ^{みず}水を得た ^え魚 イ ^{うま}馬が ^あ合う ウ ^{くち}口が ^{かる}軽い エ ^{ぜん}善は ^{いそ}急げ こたえ _____

10 「^{はな}花より^{だんご}団子^{いみ}」の意味は？

ア ^み見た目より ^め役に ^{やく}立つ ^たものを ^ええ ^らぶ イ ^{やく}どちら ^たつかず ^たで ^た役に ^た立たない

ウ ^{ひと}人は ^あつき ^{あいて}合う ^{あいて}相手によって ^{よく}よく ^もも ^{わる}わる ^くく ^もも ^{なる}なる ^{こと}こと エ ^{はな}ひみつを ^{すぐ}すぐ ^{はな}話して ^{しま}しまう

こたえ _____

11 「^し知らなければ ^{こころ}心を ^{みだ}みだ ^ささず ^いい ^られる ^{こと}こと」という ^{いみ}意味の ^{こと}こと ^{わざ}わざ・^{かんよう}慣用句は？

ア ^め目を ^{まる}丸く ^{する}する イ ^{あめ}雨 ^ふ降って ^{じかた}地 ^{かた}固まる ウ ^{かお}顔が ^{ひろ}広い エ ^し知ら ^ほぬが ^{とけ}仏 こたえ _____

12 「^{しゅ}朱に^{まじ}交われば^{あか}赤^{いみ}くなる」の意味は？

ア ^{みぢか}身近なことは ^かか ^ええて ^き気づ ^ききに ^くく ^いい ^{こと}こと

イ ^{ひと}人は ^あつき ^{あいて}合う ^{あいて}相手によって ^{よく}よく ^もも ^{わる}わる ^くく ^もも ^{なる}なる ^{こと}こと

ウ ^{つきひ}月日の ^{たつ}たつ ^ののが ^や矢の ^{よう}ように ^{はや}早い ^{こと}こと エ ^{ふか}あれ ^{かんが}これ ^{かんが}深く ^{かんが}考える こたえ _____

13 「^{もの}ねうちの^{もの}ある物も、^{もの}わからない者には ^{やく}役に ^た立たない」という ^{いみ}意味の ^{こと}こと ^{わざ}わざ・^{かんよう}慣用句は？

ア ^き聞くは ^{いつとき}一時のは ^じじ イ ^い井 ^{なか}の中の ^{かわ}蛙 ^{うみ}大海 ^しを ^し知ら ^ずず ウ ^{こばん}ね ^ここに ^こ小判 ^{ほね}エ ^お骨 ^おが ^お折 ^おれる

こたえ _____

14 「^て手ご^{いみ}たえが ^{かんよう}なく ^きき ^めめ ^ががない」という ^{いみ}意味の ^{こと}こと ^{わざ}わざ・^{かんよう}慣用句は？

ア ^めぬかに ^くく ^ぎぎ イ ^で出る ^くく ^いいは ^う打 ^たれる ウ ^{いそ}急 ^{まわ}が ^{まわ}ば ^{まわ}回 ^れれ エ ^{くち}口 ^{かる}が ^{かる}軽い こたえ _____

15 「せまい^{ちしき}知識^{ひろ}だけで 広い^{せかい}世界^しを 知らないこと」という 意味^{いみ}の ことわざ・慣用句^{かんようく}は？
ア 棚^{たな}からぼたもち イ 所^{ところ}変われば品^{しな}変わる ウ 井^いの中の蛙^{なか}大海^{かわすたいかい}を知らず エ ぬかに ぐぎ
こたえ _____

16 「出歩^{である}けば 思い^{おも}がけないことに 出會^{であ}う」という 意味^{いみ}の ことわざ・慣用句^{かんようく}は？
ア 犬^{いぬ}も歩^{ある}けば棒^{ぼう}に当^あたる イ 水^{みず}を得^えた魚^{うお} ウ 住^すめば都^{みやこ} エ 花^{はな}より団子^{だんご} こたえ _____

17 「一^{いち}を聞^きいて十^{じゅう}を知^しる」の 意味^{いみ}は？
ア しんぼう強^{つよ}く 続^{つづ}ければ 成功^{せいこう}する
イ 聞^きくのは 少^{すこ}しの はずかしさだが、聞^きかないと ずっ^{そん}と 損^{そん}を する こと ウ とても 苦勞^{くろう}する
エ かしこくて のみこみが 早^{はや}い こたえ _____

18 「目^めを丸^{まる}くする」の 意味^{いみ}は？
ア とても 苦勞^{くろう}する イ よいと 思^{おも}ったことは すぐ^{おこな}に 行^{おこな}うのが よい
ウ 小^{ちい}さなことも 積^つみ重^{かさ}なれば 大^{おお}きくなる エ とても おどろく こたえ _____

19 「むだ話^{ばなし}をして なまける」という 意味^{いみ}の ことわざ・慣用句^{かんようく}は？
ア 石橋^{いしばし}をたたいて渡^{わた}る イ 油^{あぶら}を 売^うる ウ 七^{なな}転^{ころ}び八^や起^おき エ さるも木^きから落^おちる
こたえ _____

20 「ちりも積^つもれば山^{やま}となる」の 意味^{いみ}は？
ア 小^{ちい}さなことも 積^つみ重^{かさ}なれば 大^{おお}きくなる イ 身近^{みぢか}なことは かえって 氣づ^ききにくいこと
ウ むだ話^{ばなし}をして なまける エ 見^みた目^めより 役^{やく}に立^たつものを えらぶ こたえ _____

こたえ しょう4 こくご「慣用句・ことわざ」 その1

- | | |
|----------------------------------|---------------------------------------|
| 1 エ せまい 知識だけで 広い 世界を 知らないこ
と | 11 エ 知らぬが仏 |
| 2 ウ 住めば都 | 12 イ 人は つき合う 相手によって よくも わるく
も なること |
| 3 イ 聞くは一時のはじ | 13 ウ ねこに小判 |
| 4 ウ 泣きっ面にはち | 14 ア ぬかに くぎ |
| 5 イ 身近なことは かえって 気づきにくいこと | 15 ウ 井の中の蛙大海を知らず |
| 6 イ 雨降って地固まる | 16 ア 犬も歩けば棒に当たる |
| 7 イ どんな 所でも 住みなれば いごちよく
感じること | 17 エ かしこくて のみこみが 早い |
| 8 イ 名人でも しっぱいすることが ある | 18 エ とても おどろく |
| 9 ア 水を得た魚 | 19 イ 油を売る |
| 10 ア 見た目より 役に立つものを えらぶ | 20 ア 小さなことも 積み重なれば 大きくなる |